

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	男女共同参画推進事業										事業コード	030101730302				
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立							
	施策名	1 男女共同参画の推進								施策コード	721					
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	111		頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	第4次男女共同参画計画「はばたきプラン2021」、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画（第3次）				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、福知山市男女共同参画推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 2024年に世界経済フォーラムが発表した各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数において日本は146か国中118位と先進国の中では最下位という結果であった。「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分担が未だに家庭や地域社会に根深く残っていることが要因の一つと考えられる。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ジェンダーギャップ指数の結果では「教育」「健康」の分野ではトップクラスであるが、「政治」と「経済」分野で男女格差が大きく、政策・方針決定の場への女性の参画が低いことが課題である。また家事・育児・介護の負担が女性に偏っていることから、固定的な性別役割分担意識の解消が必要である。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 男女共同参画社会の実現をめざして、福知山市男女共同参画推進条例に基づき策定した「第4次福知山市男女共同参画計画 はばたきプラン2021」の趣旨を広く市民に啓発し、同計画に基づく施策を推進する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・男女共同参画推進会議・審議会・幹事会(男女共同参画に関する情報収集と施策展開に関する調査研究)の開催 ・第4次福知山市男女共同参画計画 はばたきプラン2021」の後期計画を策定し、広く市民に啓発し同計画に基づく施策を推進する。 ・各セミナーの開催(市民・企業・女性・人事、管理職・女性メンターの発掘や育成) ・デートDV防止ワークショップの実施					
対象者	市民		対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,030		1,770		1,106		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		2,030		1,770		1,106		0			
予算財源内訳	① 一般財源	1,711		1,271		603		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	319		499		503		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	△ 7		24							
	② 配当予算	2,023		1,794							
	③ 執行額	1,459		1,545							
	④ 執行率	72.1%		86.1%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	2.19	/	0.00	2.11	/	0.00			/	
	② 概算人件費	17,520		16,880							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		18,979		18,425							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金			種類	民生費府補助金		619	決算附属資料	22	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人		1116	1054	1475			
		目標値		1200	1200	1200	1400	1500		
セミナー、講座への参加者数		達成度		%	93%	88%	123%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回		12	13	16			
講座等開催回数		当初見込		16	15	15	17	20		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 啓発したい内容や年代層に応じて講座の内容や開催場所・時間を検討し、より効果的な広報を行う。市民の方が参加しやすいように、講師と相談したりアンケート結果を基にしたりして講座の開催日時や時間帯を決定する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%		30.6	27.2	30.7			
		目標値		30	30	32	33	35		
審議会、委員会等の女性委員割合		達成度		%	102%	91%	96%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	団体		13	14	13			
はばたきネットワーク参画団体数		当初見込		10	10	13	13	13		
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 市民への啓発活動を行うため、以下のとおり実施する。 ・セミナーや講演会を開催し、市民への啓発を行う。 ・各学校デートDVワークショップを行う。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・広報は従来の広報ふくちやまへの掲載やチラシ配布をはじめ、SNSを活用し幅広い層への情報発信を行った。 ・セミナーについては、開催日時を平日、土日、昼間、夜間など様々な時間帯に設定し、開催内容に合ったターゲット層が参加しやすいように工夫したが、どのセミナーの参加者の年代層を見ても、高齢者の割合が高い結果となった。そのためこちらが想定するターゲット層が参加しやすいよう、より開催内容や広報の工夫が必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	・セミナーについては、開催曜日や開催時間の工夫だけでなく、関連団体と共催するよう努める。 ・セミナーのチラシ等の配布先は、商業施設、遊興施設、飲食店など、市民が多く利用する場所に置いてもらえるよう開拓する。 ・今後も誰もが性別に関わらずに活躍できる社会をめざし、組織への働きかけや市民への啓発・学習会を進めていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	男女共同参画保護救済事業										事業コード	030101730303			
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち						政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立						
	施策名	1 男女共同参画の推進								施策コード	721				
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	111・112	頁
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和12年度		関連計画名	第4次男女共同参画計画「はばたきプラン2021」上、配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画（第3次）				R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、福知山市男女共同参画推進条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 歴史的なジェンダー不平等(女性の権利の制限、男性への固定観念)や、ジェンダーに基づく暴力(DVや性暴力)の他、家庭不和、人間関係、生き方など、個人が抱える問題が複雑化、多様化、複合化している。女性が家庭に入り、経済的に自立していないため、DV等の被害にあっても配偶者等から避難することができない状況がある。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 潜在的な被害者に対し、相談窓口の開催場所としての周知や認知度が上がるような広報手段の改善。また、相談体制の強化と、相談員のスキルの向上、また相談者が利用しやすい相談手段の見直しが必要である。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) DVや性暴力などの女性に対する暴力は重大な人権侵害であり、被害者の保護・救済と暴力の防止に向けて積極的な予防啓発を推進する。併せて、相談体制の充実や関係機関との連携強化を図り、迅速かつ適切な支援を実施する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市民を対象に、職員による随時の相談対応 ・市民を対象に、女性相談(年間22回)、女性の弁護士による女性法律相談(年間8回)、性別にこだわらない相談(年間6回)、男性相談(年間4回)の実施 ・DV被害者支援(緊急一時保護に係る宿泊支援、食費支援、住民基本台帳事務における支援措置) ・庁内外の関係部署や関係機関との月1回の定例連携会議の実施 ・京都府主催の相談員研修に参加し、相談員のスキルアップを行う									
対象者	市民					対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,354		1,386		1,351		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		1,354		1,386		1,351		0				
予算財源内訳	① 一般財源	1,354		1,386		1,017		0				
	② 国支出金	0		0		334		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	21		△ 39								
	② 配当予算	1,375		1,347								
	③ 執行額	1,311		1,287								
	④ 執行率	95.3%		95.5%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全庁年度任用職員)	1.14	/	0.00	1.09	/	0.00	/				
	② 概算人件費	9,120		8,720								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,431		10,007								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		
				2								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	—	—	—				
	相談者の利用満足度	目標値		—	—	—	75	85		
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	59	64	59				
	専門相談の相談者延べ人数	当初見込		55	55	53	55	55		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・専門相談の実施(女性相談・女性の弁護士による女性法律相談・男性相談・性別にこだわらない相談) ・職員対応の相談について、従来の対面、電話相談以外に、メールやSNSを利用した相談方法を追加する等相談体制の強化について検討								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・専門相談の予約について対面または電話での予約のみだったものを、利用のハードルを下げるためWEB上でも相談の空きを確認し、予約ができる予約フォームを作成し、R7年1月より運用を開始した。 ・今年度は女性相談員が1名配属され、困難な問題を抱える女性からの相談に対し、一人ひとりのニーズに応じて、寄り添った支援を行うことができた。 ・包括的かつ切れ目ない、支援体制という面で、人権推進室で相談受付後、支援先の関係機関に行った事後の対応の確認が不十分なケースがある。	
現状の課題 に対する 改善策	・相談者に寄り添い、信頼と安心感が持てる対応ができる、悩みや問題の解決につながる適切な支援の連携が行える等の相談スキルが必要。そのため相談スキルの向上につながる研修の機会の確保が必要である。 ・関係機関との連携について、支援課に繋がった後こちら側からも支援の後追いをを行い、実際に相談者がどのような支援や対応を受けたのか確認を行う。	

(単位：千円)

事業名	婦人教育事業						事業コード	100501630235			
政策体系	基本政策	7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち				政策目標	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立				
	施策名	1 男女共同参画の推進					施策コード	721			
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課				所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	223	頁
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 人権推進に係る研修会や学習会に積極的に参加し、学びを共有する事で人権尊重を基盤とした男女共同参画社会実現を図る。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 婦人会活動を地域活性化の礎とし、研修等を通じて女性の生涯学習活動の充実を図る。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 人権尊重を基盤にして、男女共同参画社会の実現に向けて、学習・実践を進める。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山市連合婦人会を通じた研修(生涯学習講座)支援 ・母の日大会開催、ブロック別リーダー研修会、生涯学習講座、京都女性の健康フェスティバル参加、各種京都府連行事、研修会等参加					
対象者	婦人会会員	対象者数	139	単位あたりコスト	10.9	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	福知山市連合婦人会 京都ユニオンサービス株式会社					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	旅費	3	京都府社会教育・生涯学習・公民館研修、全国女性団体連絡協議会全国大会(京都)、京都府地域女性リーダー研修講座			
	需用費	14	燃料費			
	委託料	43	福祉バス運行業務			
	負担金補助及び交付金	295	事業負担金、ブロック別研修事業負担金、生涯学習講座(福知山市連合婦人会)			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	351		361		382		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		351		361		382		0	
予算財源内訳	① 一般財源	351		361		382		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	20		△ 4					
	② 配当予算	371		357					
	③ 執行額	371		355					
	④ 執行率	100.0%		99.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.04	/	0.30	0.04	/	0.30	/	
	② 概算人件費	1,160		1,160					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,531		1,515					
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	447	436	445			
	市民参加者数 (母の日大会、生涯学習講座、活動交流ホーラム等)	目標値		300	300	300	300	300	
		達成度		%	149%	145%	148%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	8	9	9			
	婦人会の研修等活動回数	当初見込		8	8	8	8	8	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	婦人会事業へ負担金の交付								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	○女性団体として市の各種事業に積極的に携わり、活動を推進する力となっている。 ○人権問題や地球温暖化対策、防災研修等の今日的課題解決に向けた研修は、女性の資質及び地位向上に役立つものになっている。 ○各事業への参加と内容の報告が確実に行われており、学んだことの交流と共有ができています。								
現状の課題 に対する 改善策	○他団体との交流を積極的に進め、女性団体ならではの意見を発信したり、これまで蓄積されてきた学びや実践の成果を発信することで、男女共同参画社会の実現を目指す。								